

京都市政記者クラブ
京都経済記者クラブ
京都府政記者室
経済産業記者会
経済産業ペンクラブ
内閣府記者会
日本外国特派員協会
文部科学記者会

NPO 法人 STS フォーラム
2011年9月26日
(東京標準時間午後3時リリース)

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STS フォーラム) 第8回年次総会を10月2日(日)から京都にて開催

報道関係者各位

尾身幸次によって2004年11月に創設された『科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)』の第8回年次総会が、「科学技術の光と影」というメインテーマのもと、2011年10月2日(日)～4日(火)、京都で開催される。

全世界約80の国・地域・国際機関から、約1,000名の参加者が予定されている。そのうち、約30ヶ国を代表する科学技術政策担当大臣、9名のノーベル賞受賞者、100名の財界人、17カ国の学会の議長、60名の大学学長・総長が参加を表明しており、2日半の討議に参加する。例年通り全体会議、分科会において、世界的課題(人口、食料、保健等)を議論し、特に今年はエネルギーと環境並びに原子力の安全性の確保と将来についての議論が予定されている。

主な参加予定者は以下の通り。

日本政府および政界からは中川正春 文部科学大臣、北神圭朗 経済産業大臣政務官、安倍晋三 衆議院議員・元内閣総理大臣、ドイツ政府からはアネッテ・シャヴァーン 教育研究大臣、米国政府からはスティーブン・クーニン エネルギー省科学担当次官補、インド政府からはアシュワニ・クマール 科学技術大臣、タイ政府からはプロートプラソップ・スラサワディー 科学技術大臣、欧州議会からはポール・リュビツヒ 科学技術選択肢評価委員会委員長(オーストリア)、英国政府からはジョン・ベティントン 政府首席科学顧問、コンゴ民主共和国政府からは、ジャン＝ピエール・ボコレ・オンポカ 科学研究大臣、ケニア 政府からマーガレット・カマル 高等教育・科学大臣。

世界的に著名な有識者・研究者では、ジェローム・フリードマン マサチューセッツ工科大学名誉教授(米国、1990年ノーベル物理学賞受賞)、カルロ・ルビア サステナビリティ研究所、技術担当理事(イタリア、1984年ノーベル物理学賞受賞)、リチャード・ロバーツ ニューイングランドバイオラボ、チーフ・サイエンティフィック・オフィサー(英国、1993年ノーベル生理

お問合せ先：

NPO 法人 STS フォーラム事務局(京都国際会館内) / プレス・オフィス

事務局長： 芹澤ゆう / 広報担当： 遠藤典子、吉川玲子、濱田安芸子

Tel: 075-705-2051 / Fax: 075-705-2054

press@stforum.org / www.stforum.org

STS forum (Non-Profit Organization)

Sanno Grand Building 419, 2-14-2 Nagatacho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0014, Japan

Tel : (+ 81-3) 3519-3351 Fax : (+ 81-3) 3519-3352 e-mail : press@stforum.org

1/2

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STS フォーラム)

第8回年次総会を10月2日(日)から京都にて開催(続)

学・医学賞受賞)、ピーター・アグレ ジョンズホプキンス大学マラリア研究所所長(米国、2003年ノーベル化学賞受賞)、李遠哲 台湾中央研究院名誉院長(台湾、1986年ノーベル化学賞受賞)、野依良治 理化学研究所理事長(日本、2001年ノーベル化学賞受賞)、ターウィーサク・コアナンタコール タイ科学技術開発機構理事長、山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所(日本)。

科学アカデミーからは、チャールズ・ベスト 全米技術アカデミー院長(米国)、マティアス・クライナー ドイツ研究振興協会会長(ドイツ)、天野之弥 IAEA事務局長、小宮山宏 三菱総合研究所理事長・日本工学アカデミー会長、ジョン・ファーヘイ ナショナルジオグラフィックス協会・会長兼CEO。

大学からは、濱田純一 東京大学総長、松本紘 京都大学総長、井上明久 東北大学総長、清家篤 慶応義塾大学塾長(日本)。

財界からは、チャールズO. ホリデー Jr. バンク・オブ・アメリカ会長・競争力評議会名誉会長・前デュポン会長(米国)、西田厚聰 東芝会長、日本経済団体連合会副会長(日本)、長谷川閑史 武田薬品工業社長、日本経済同友会代表幹事(日本)、山本正己 富士通社長(日本)、東哲郎 東京エレクトロン会長、李潤雨 サムスン電子副会長(韓国)、エスコ・アホ ノキア副社長、フィンランド元首相(フィンランド)、永山治 中外製薬社長(日本)、郭樹清 中国建設銀行会長(中国)。

取材を希望される報道関係者の方は、STSフォーラムのホームページから以下の要領にてお申し込みください。STSフォーラムの登録サイト <http://www.stsforum.org/> にアクセスし、左下のPress RoomからMedia Accreditation Request (オレンジ色) を選択して登録画面に入り、必要項目を入力してください(登録サイトは日英2ヶ国語で用意しております)。

登録締め切り : 2011年9月30日(金) 18:00 <厳守>

添付書類 :

- (1) 報道取材要領 (一式)、
- (2) プログラム (暫定版)、
- (3) 参加確定各国関係リスト

お問合せ先 :

NPO 法人 STS フォーラム事務局 (京都国際会館内) / プレス・オフィス

事務局長 : 芹澤ゆう / 広報担当 : 遠藤典子、吉川玲子、濱田安芸子

Tel: 075-705-2051 / Fax: 075-705-2054

press@stsforum.org / www.stsforum.org

STS forum (Non-Profit Organization)

Sanno Grand Building 419, 2-14-2 Nagatacho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0014, Japan

Tel : (+ 81-3) 3519-3351 Fax : (+ 81-3) 3519-3352 e-mail : press@stsforum.org 2/2

報道取材要領

プレスセンターのご利用について

フォーラム開催期間中は会場内の5Fにプレスセンターを設置します。ファックス、コピー機、LAN 回線によるインターネットのご利用が可能です。事前にお申し込みいただいた場合には、スピーカーや参加者との個別インタビューを事務局（プレス担当）によって手配させていただきます。

取材要領（注意事項）

ペン（記事）記者の方は、開会式及び全体会議等の他に分科会の取材も可能です。ただし分科会の討議内容に関しては、チャタムハウスルール（注1）を遵守いただき、発言者を特定できないようにしていただきますようお願いいたします。

（注1）チャタムハウスルール

本フォーラムにおいては、参加者に自由に発言していただくため、チャタムハウスルールを適用しています。

要点は次の通りです。

- 1 会議における発言を公開文書やマスメディアにおいて引用する場合、発言者が特定されるような形での引用は行わない。
- 2 「〇〇というテーマに関し、△△という意見が出た」という引用はよいが、発言者の名前を明記しなくても、発言者を推測できるような形での引用は行わない。

食事を伴うセッションは、原則プレスの参加は不可とさせていただきます。但し、ビュッフェ・ランチ（10月2日 12:30-13:30）及びスペシャル・ビュッフェ・ディナー（10月3日（月） 18:30-20:30）に関しては当該ランチ、ディナー開催中に得た情報をオフレコ扱いにさせていただくという制約の下でご参加いただけます。

テレビ取材要領

会場内でのテレビ撮影は下記のセッションのみ可能です。事務局の事前許可なく、下記の場所・時間以外での撮影はお断りいたします。

10月2日（日）	10:00 - 11:00	開会式（Opening Plenary Session）
	11:00 - 12:10	全体会議（Plenary Session）
	13:30 - 16:00	全体会議（Plenary Session 102A+B）
10月3日（月）	08:30 - 09:50	全体会議（Plenary Session）
	13:00 - 14:00	全体会議（Plenary Session）
	16:50 - 18:00	全体会議（Plenary Session）
10月4日（火）	08:30 - 12:30	全体会議及び閉会式（Plenary Session & Closing Plenary Session）
	10:30 - 13:00	皇太子殿下ご臨席

※ 各取材位置とも、カメラは1社1カメラ（ENGは系列1カメラ1補助）、ペン（記事）記者は1社1記者による限定取材をお願いします。

皇太子殿下の取材要項

08:00 am に正面玄関をオープンし、プレス登録を開始します。09:20 am までに、必ず受付を済ませてください。

1. 御着(10:30 am)の取材 [正面玄関]
09:30 に国立京都国際会館正面玄関前に集合願います。
2. 全体会議(10:45 am)の取材 [メインホール下手]
09:30 に国立京都国際会館正面玄関前に集合願います。
3. 全体会議(10:45 am)の取材 [メインホール正面]
09:30 に国立京都国際会館正面玄関前に集合願います。
4. 閉会式 (11:50 am) の取材 [メインホール正面]
09:30 に国立京都国際会館正面玄関前に集合願います。
5. 閉会式 (11:50 am) の取材 [メイン・ホール上手]
09:30 に国立京都国際会館正面玄関前に集合願います。
6. フェアウェル・ビュッフェ・ランチ (12:39 pm) の取材 [スワン]
ペン取材のみとなります。カメラ取材はありません。

- ※ 御日程の時刻は、取材の便宜上お知らせしており、部外秘扱いをお願いいたします。
- ※ 1 から 2、3 への移動は不可、1 から 4、5 への移動(閉会式直前のみ)は可です。
- ※ 2 での取材は「御入場から御着席」までとなります。
- ※ 2 から 3 への移動は可です。
- ※ 3 での取材は「御入場から最初の講演者の冒頭 3 分程度」までとなります。
- ※ 3 から 5 への移動(閉会式直前のみ)は可です。
- ※ 4 と 5 との間の移動は不可です。
- ※ スワンでの取材はペン取材のみとなります。
- ※ 集合時刻に遅れた場合は、取材できませんのでご注意ください。
- ※ 指定された取材位置以外での取材、撮影はできません。

プレス登録

取材を希望する報道関係者の方は、STS フォーラムのホームページから以下の要領にてお申し込みください。

登録締め切り: 2011年9月30日(金) 18:00 <厳守>

取材記者証の交付

所定の場所に設置されるプレス専用受付で交付致します。その際は、本人確認のため必ず写真付きIDないし記者証と完了メールのコピーをご提示ください。

10月1日(土) 受付時間:	10:00 - 18:00	(グランドプリンスホテル京都 ロビー階)
10月2日(日) 受付時間:	08:30 - 19:30	(国立京都国際会館 ロビー)
10月3日(月) 受付時間:	07:15 - 18:00	(国立京都国際会館 ロビー)
10月4日(火) 受付時間:	08:00 - 13:00	(国立京都国際会館 ロビー)

お問合せ先:

NPO 法人 STS フォーラム事務局(京都国際会館内)/プレス・オフィス
事務局長: 芹澤ゆう/ 広報担当: 遠藤典子、吉川玲子、濱田安芸子
Tel: 075-705-2051 / Fax: 075-705-2054
press@stforum.org / www.stsforum.org

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム） 第8回年次総会

2011年10月2日（日） - 4日（火）

於 国立京都国際会館

プログラム

※全ての討議は英語で行われ、同時通訳の用意はございません（個人手配は自由。）

2011年10月2日（日）

100	10:00 - 11:00	開会式・全体会議『科学技術と人類の未来』 中川正春 文部科学大臣
101	11:00 - 12:10	全体会議『イノベーションの推進：政治家・科学者・経営者間の対話』
	12:10 - 13:30	ビュッフェ・ランチ（全参加者対象）
102A	13:30 - 14:45	全体会議『エネルギーと環境』 北神 圭朗 経済産業大臣政務官
102B	14:45 - 16:00	全体会議『原子力の安全性と将来の発展』 北神 圭朗 経済産業大臣政務官
	16:00 - 16:30	コーヒーブレイク
103	16:30 - 18:30	分科会 第1シリーズ
	18:30 - 19:30	カクテル・パーティー
104	19:30 - 21:00	晩餐会（着席式、本人及び同伴者のみ）

2011年10月3日（月）

200	08:30 - 09:50	全体会議『世界規模の保健の新しい試み』
	09:50 - 10:20	コーヒーブレイク
201	10:20 - 12:20	分科会 第2シリーズ
	12:20 - 13:00	ビュッフェ・ランチ（着席式）『ポスト京都議定書の世界の枠組み』
202	13:00 - 14:00	全体会議『食糧・栄養・人口問題』
203	14:20 - 16:20	分科会 第3シリーズ
	16:20 - 16:50	コーヒーブレイク
204	16:50 - 18:00	全体会議『情報通信技術はいかに経済活動や社会を変革するか？』
205	18:30 - 20:30	スペシャル・ビュッフェ・ディナー（全参加者対象） 於：東福寺 （STSフォーラム支援京都実行委員会主催）

2011年10月4日（火）

300	08:30 - 09:25	全体会議『分科会総括』
301	09:25 - 10:15	参加者自由討論
	10:15 - 10:45	コーヒーブレイク
302	10:45 - 11:45	全体会議『人類の未来のための持続可能性』 安倍晋三 元内閣総理大臣
303	11:45 - 12:30	全体会議・閉会式『将来に向けて我々は何をすべきか？』 皇太子殿下ご臨席
304	12:30 - 13:30	フェアウェル・ビュッフェ・ランチ（全参加者対象）

科学技術と未来に関する国際フォーラム (STS フォーラム)
第8回年次総会

参加確定科学技術担当大臣

マリア カンディダ・ベレイラーテイセイラ	高等教育・科学技術大臣	アンゴラ共和国
フランソワ・アピオラ	高等教育・科学研究大臣	ベニン共和国
グニッサ・コナテ	科学研究・技術革新大臣	ブルキナファソ
ジャン＝ピエール・ボコレーオンボカ	科学研究担当大臣	コンゴ民主共和国
セラフィン・ムンドウガ	国民教育・高等教育・科学研究・技術革新大臣	ガボン共和国
アネット・シャヴァーン	教育・研究担当大臣	ドイツ連邦共和国
アシュワニ・クマール	科学技術担当大臣	インド共和国
マーガレット・カマル	高等教育・科学技術大臣	ケニア共和国
ラジェシュワー・ジータ	高等教育・科学・研究技術大臣	モーリシャス共和国
ミール・ジャマリ	科学技術大臣	パキスタン・イスラム共和国
ピエール ダミエン・ハブムレミ	教育大臣	ルワンダ共和国
マゲレ・マゲレ	教育・スポーツ・文化大臣	サモア独立国
チュアン ポー・リム	科学技術研究庁長官	シンガポール共和国
バヴィトラ・ウニアラクチ	技術研究大臣	スリランカ民主社会主義共和国
マガメ・ムバラワ	情報通信・科学技術大臣	タンザニア連合共和国
ブロードブラソップ・スラスワディ	科学技術大臣	タイ王国
ジョン・ベディントン	政府科学技術顧問	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国
ヘネリ・ジノチウエイ	科学技術開発大臣	ジンバブエ共和国

合計 18名

(国別アルファベット順)